

## はじめに

東大寺には、日本を代表する古文書・典籍が伝来している。それらは『東大寺文書目録』全六巻(奈良国立文化財研究所編、一九七九年～一九八四年)等によって目録が整備され、日本の歴史・文化の研究に大いに寄与している。その結果、多くの文書・典籍が東大寺文書・東大寺聖教等として国宝・重要文化財に指定されている。その一方で東大寺には、未だ目録が存在せず研究に活用できない史料が多く存在する。それらの目録化は、東大寺・奈良、ひいては日本史・仏教史等の研究上、焦眉の課題である。本報告書は、そのような史料群である新修東大寺文書聖教の、悉皆的な調査研究の一部をなすものである。

新修東大寺文書聖教は東大寺図書館が所蔵する文書・聖教類で、江戸時代を中心とする東大寺関係の一大史料群である。そこには、東大寺・その末寺・領地・周辺地域の、宗教・政治・経済等々に関する、膨大な情報が記録されている。従来は量の多さゆえに調査が行き届かず、利用が難しい状態だった。そこで平成十三年度(二〇〇一)にその悉皆的な調査を開始した。それ以降二〇年以上の間、科学研究費補助金によって調査を実施している。

本書には、平成二十六年度(二〇一四)以降の調査研究成果を収録した。第七八函(第一〇〇函)の調査を実施し、その目録を本書の目録編に掲載した。また、新修東大寺文書聖教を用いた考察をおこない、論考を論考編に掲載した。ただし調査研究の主眼は、できるだけ多くの史料を目録化して公表する点に置いたため、考察すべくして考察できていない論点も多々存在する。それらは他日を期し、現状の成果を取り急ぎ公表するものである。今後本書が、東大寺・南都仏教・奈良に関する基礎史料として活用されることを祈念している。

本調査研究は、科学研究費補助金「南都の未整理文書聖教にもとづく寺社とそ

の周辺社会の調査研究」(基盤研究(B)、研究代表者吉川聡、平成三〇年度～令和五年度)の成果の一部である。当初は令和四年度までの予定だったが、新型コロナウイルスの流行のため令和二年度～三年度は原本調査を中断せざるを得ず、それに対応して令和五年度まで研究期間を延長した。またこの研究課題は「東大寺を中心とする南都の未整理文書聖教の復元的調査研究」(基盤研究(B)、研究代表者吉川聡、平成二六年度～平成二九年度)を継続したものであり、両者の成果を含んでいる。よって本書に掲載したのは、平成二六年度から令和五年度にかけての調査研究である。

平成二六年度から現在までの間、本調査に従事したのは下記の者である。

吉川 聡 研究代表者 奈良文化財研究所文化遺産部歴史研究室長

横内 裕人 研究分担者 京都府立大学文学部教授

橘 悠太 研究分担者(令和五年度) 奈良文化財研究所文化遺産部歴史研究室アソシエイトフェロー

坂東俊彦 東大寺史研究所研究員

富田正弘 富山大学名誉教授

杉本一樹 奈良文化財研究所 都城発掘調査部 客員研究員

遠藤基郎 東京大学情報学環・史料編纂所教授

水谷友紀 京都府立大学共同研究員

小原嘉記 京都女子大学文学部准教授

宇佐美倫太郎 元歴史研究室派遣職員、現福井県生涯学習・文化財課主任

山田淳平 元歴史研究室派遣職員、現奈良県文化・教育・くらし創造部

文化財保存課 美術工芸担当 主査

山本倫弘	元歴史研究室有期雇用職員、現日光山輪王寺 学芸員
竹貫友佳子	京都府立大学共同研究員
大田壮一郎	元歴史研究室派遣職員、現立命館大学文学部教授
吉永隆記	元歴史研究室派遣職員、現京都精華大学特任講師
中町美香子	元歴史研究室有期雇用職員、現花園大学文学部准教授
谷本 啓	元歴史研究室有期雇用職員
三輪眞嗣	元歴史研究室派遣職員、現金沢文庫学芸員
石津裕之	元歴史研究室派遣職員、現東京大学史料編纂所助教
松浦智博	元歴史研究室派遣職員・現京都府立京都学・歴史館 京都学推進課 京都学推進研究員
張 思捷	元歴史研究室有期雇用職員、現三江学院外国語学院日本語科講師
長村祥知	富山大学学術研究部人文科学系 講師
勅使河原拓也	元歴史研究室派遣職員、京都大学文学部非常勤講師
岩永紘和	歴史研究室有期雇用職員
山本祥隆	奈良文化財研究所 都城発掘調査部 主任研究員
板谷寿美	元歴史研究室派遣職員、現徳川美術館 学芸部 学芸員
安永 寛	京都大学大学院文学研究科博士後期課程
青木貴史	元歴史研究室派遣職員、現文化庁文化財第一課 文化財調査官
鈴木 蒼	元歴史研究室派遣職員、現宮内庁書陵部 編修課 研究官
高橋大樹	大津市歴史博物館 学芸員
栗原正東	歴史研究室有期雇用職員
今村 凌	元歴史研究室派遣職員、現京都府立京都学・歴史館 京都学推進課 京都学推進研究員
阪東寛之	元歴史研究室派遣職員、現堺市博物館 学芸員
新林力哉	歴史研究室有期雇用職員

殷 捷	元歴史研究室派遣職員
坂本陽太	歴史研究室学生アシスタント
長家光笛	歴史研究室学生アシスタント
ドウーリナ アンナ	歴史研究室学生アシスタント
村上孟謙	歴史研究室有期雇用職員
写真撮影	

井上直夫	元奈良文化財研究所 企画調整部写真室
栗山雅夫	奈良文化財研究所 企画調整部写真室 専門職員
飯田ゆりあ	奈良文化財研究所 企画調整部写真室 主任

研究調査の遂行に当たっては、東大寺の執行部の皆様・東大寺図書館の皆様のご理解・ご協力を賜りました。特に、東大寺史研究所研究員の坂東俊彦氏には、格別のご高配を賜りました。記して感謝申し上げます。

本調査研究は、科学研究費補助金「南都の未整理文書聖教にもとづく寺社とその周辺社会の調査研究」(基盤研究(B)、研究代表者吉川聡、平成三〇年度・令和五年度)の成果の一部である。本調査研究においては、本書以外にも左記の二冊の成果報告書を刊行している。

『元奈良町 清水家資料調査報告書』  
『惣年寄』

平成三〇年度・令和四年度科学研究費補助金(基盤研究(B))「南都の未整理文書聖教にもとづく寺社とその周辺社会の調査研究」成果報告 第一冊 吉川聡編集、二〇二三年

『京都市歴史資料館所蔵 燈心文庫本東大寺文書調査報告書』  
京都府立大学文化遺産叢書 第三一号 横内裕人等編集、二〇二四年

(吉川 聡)